

# 平成27年度（独）国際観光振興機構調達等合理化計画の概要

- 公正性・透明性を確保しつつ、自律的かつ継続的に調達等の合理化に取り組む。
- 計画策定、実施、評価及び次計画への反映というPDCAサイクルにより推進。
- 理事を総括責任者とする調達等合理化検討会を設置。
- 計画策定及び自己評価に当たっては、契約監視委員会の点検を受けた上で、主務大臣へ報告。

## I. 調達の現状（平成26年度）

### ● 調達実績

→ 94件、3,649百万円

- ◇「競争性のある契約」  
84件、3,480百万円
- ◇「競争性のない契約」  
10件、169百万円

### ● 一者応札・応募の状況

→ 22件、650百万円

- ◇「一者応札」  
3件、15百万円
- ◇「一者応募」  
19件、635百万円

### ● 障害者就労施設からの調達

→ 1件、8千円

- ◇調達の推進方針に基づき初調達

## II. 改善に向けた取組

### 重点的に取り組む分野

#### ①物品等調達におけるオープンカウンター方式の導入

→ 予定価格が少額の契約を対象に、従前までのwebを活用した見積書徴取等に加え、あらかじめ見積もりの相手方を指定せず、カウンター上に仕様書を公示し、参加を希望する者から広く見積書を募る方式（オープンカウンター方式）を導入することにより、公平性・透明性を確保しつつ、コスト軽減を目指す。

#### ②企画競争の一者応募の見直し

→企画競争説明書を受け取りながら参加しなかった事業者に対して、アンケート調査を行い、要因を分析する。

#### ③障害者就労施設等からの調達

→障害者就労施設等の業種別一覧表を作成し、障害者就労施設等からの調達を推進する。

### ガバナンスの徹底

①競争性のない随意契約を新たに締結した場合、監査室の点検を実施。

②複雑化・専門化している調達業務に対応するため、調達に係る内容の研修を実施。